

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報22

平成25年度

2014年3月

島根県教育委員会



1. 灘遺跡 完掘状況（松江市）



2. 魚見塚古墳 後円部盛土の状況（松江市）



3. 古屋敷遺跡出土彩文土器（大田市）

# 目 次

埋蔵文化財調査センターの概要	1
I 平成 25 年度の体制	2
1. 組 織	2
2. 職員一覧	2
II 埋蔵文化財活用事業	3
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	3
2. 現地説明会	3
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
(1) いにしえ倶楽部	4
(2) いにしえ倶楽部連続講座	4
4. 職場体験学習の受け入れ	4
5. 心に残る文化財子ども塾	5
6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	6
7. 平成 25 年度 教員のための文化財活用講座	6
8. 埋蔵文化財調査センター見学案内	6
9. 職員の講師派遣	7
10. その他	7
11. 資料の貸出・調査等	8
(1) 資料調査	8
(2) 写真資料等	9
(3) 資料貸出	10
(4) その他	11
(5) 施設利用	12
(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数	12
III 研究事業	12
IV 研修・調査指導事業	13
1. 埋蔵文化財基礎研修	13
2. 埋蔵文化財専門研修	13
3. 調査指導等	14
V 会議・講習会参加	14
VI 発掘調査事業	15
1. 一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	16
2. 一般国道 9 号（静間仁摩道路）改築工事に伴う発掘調査	18
3. 大橋川河川改修事業に伴う発掘調査	20
4. 国道 432 号道路（大庭バイパス）改築工事に伴う発掘調査	21

5. 学術調査等	22
(1) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）	22
(2) 考古資料基礎調査研究（出土品再整理事業）	25
(3) 保存処理・理化学分析	25
(4) 試掘確認調査・分布調査	26
VII 県内発掘調査一覧	27
VIII 刊行物等	31
1. 年報	31
2. ドキ土器まいぶん	31
3. 発掘調査報告書	31
4. 発掘調査パンフレット	31
IX 付編	32
赤羽根遺跡発掘調査報告	32

# 埋蔵文化財調査センターの概要

## 埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、国宝出雲大社本殿、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

## 埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8608 FAX 0852-36-8025

Eメールアドレス [maibun@pref.shimane.lg.jp](mailto:maibun@pref.shimane.lg.jp)

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

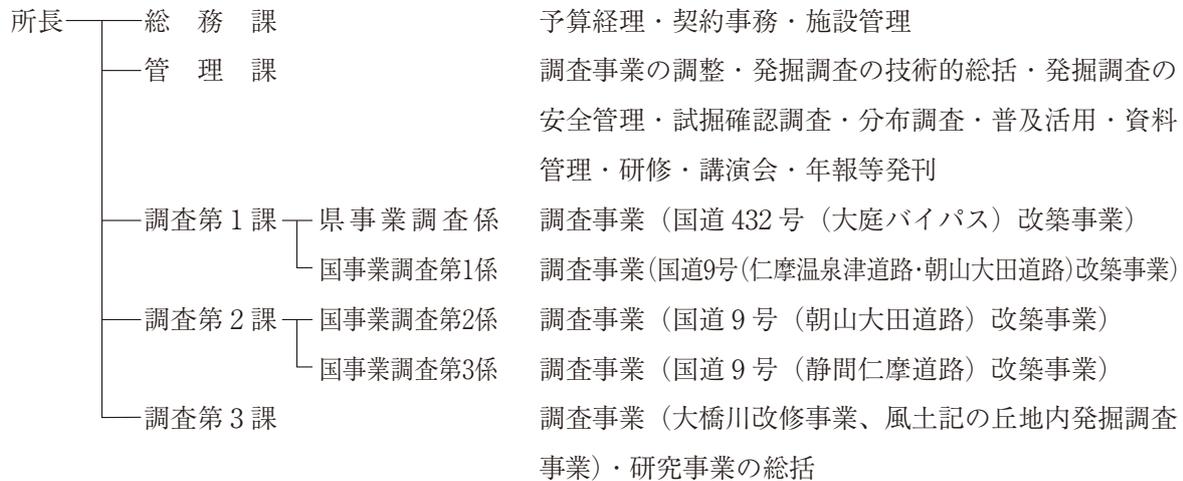
## 施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡	
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡	
	所長室	25㎡		小計	1,620㎡	
	事務室・調査研究室	315㎡	いにしえ学習館棟	体験学習室	95㎡	
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡	
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡	
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡	
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡	
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡	
	理化学分析室	35㎡		小計	3,696㎡	
	鉄器処理室	35㎡		合計	合計	7,835㎡
	木器処理室	35㎡				
	水洗室	70㎡				
	その他	942㎡		小計	2,519㎡	
	小計	2,519㎡				

# I 平成 25 年度の調査体制

## 1. 組 織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター



## 2. 職 員 一 覧

職 名	氏 名
所 長	廣 江 耕 史
総 務 課	
課 長	渡 部 宏 之
主幹	城 市 純 子
嘱託	加 藤 ひ と み
事務補助員	濱 田 佐 知 子
	安 井 里 佳
管 理 課	
課 長	熱 田 貴 保
企画員	守 岡 利 栄
(兼)主任主事 調査補助員	東 森 晋
	澤 田 正 明
	上 山 晶 子
調 査 第 1 課	
課長(県事業調査係長)	今 岡 一 三
国事業調査第1係長	深 田 浩
企画員	是 田 敦
(兼)文化財保護主任	山 根 伸 一
	武 田 尚 志
調査補助員	田 中 玲 子
	井 谷 朋 子
	片 寄 雪 美

職 名	氏 名
調 査 第 2 課	
課長(国事業調査第2係長)	林 健 亮
企画員	久 保 田 一 郎
国事業調査第3係長	宮 本 正 保
文化財保護主任	伊 藤 智
嘱託	内 田 律 雄
調査補助員	福 田 市 子
	飯 塚 由 起
	阿 部 賢 治
	松 山 智 弘
	無 川 美 和 子
	坂 根 健 悦
	渡 辺 聡
調 査 第 3 課	
課 長	池 淵 俊 一
企画員	原 田 敏 照
嘱託	勝 部 智 明
	川 原 和 人
調査補助員	福 田 沙 織
	人 見 麻 生
	岩 本 真 実
宮城県派遣	
企画幹	大 庭 俊 次

## Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用事業を行っている。

### 1. 埋蔵文化財調査センター講演会

島根県埋蔵文化財調査センターが実施している発掘調査の成果等を県民に分かりやすく情報発信する講演会で、年に一度島根県内において開催している。

今年度は、平成20年度と23、24年度に仁摩温泉津道路建設に先立ち現地発掘調査を実施した大田市仁摩町の庵寺古墳群をテーマに、庵寺古墳群の被葬者像や石見東部の古墳時代前期の様相について以下の通り実施した。

島根県埋蔵文化財調査センター講演会「庵寺古墳群と日本海交流 - 石見東部の古墳時代前期 -」

日 時：平成25年11月16日(土) 13:30～17:00 (13:00開場)

会 場：大田市立仁摩公民館集会室 (大田市仁摩町仁万562-3)

参加者数：90名

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター

共 催：大田市教育委員会

内 容：

- ・ 基調講演「日本海沿岸部における古墳の出現・展開と石見地域」岩本 崇(島根大学法文学部准教授)
- ・ 事例報告①「庵寺古墳群の発掘調査」深田 浩(島根県埋蔵文化財調査センター国事業調査第一係長)
- ・ 事例報告②「中山古墳群(邑南町)の発掘調査」三宅博士(松江市立出雲玉作資料館館長)
- ・ パネルディスカッション「庵寺古墳群と石見東部の古墳時代前期」  
コーディネーター 池淵俊一(島根県埋蔵文化財調査センター調査第三課長)  
パネラー 岩本 崇、深田 浩、三宅博士、赤澤秀則(松江市教育委員会調査係長)、  
東方仁史(鳥取県立博物館主任学芸員)
- ・ 会場展示 庵寺古墳群出土品及びパネル・安養寺古墳群出土品(大田市教育委員会所有資料)等

### 2. 現地説明会

発掘調査中の遺跡を公開し、調査成果について担当者が説明するとともに、遺物の速報展示を行った。

遺 跡 名	開 催 日	場 所	参 加 者	備 考
古天神古墳	平成25年7月16日(土)	松江市大草町	40名	
灘遺跡	平成25年10月14日(月・祝)	松江市矢田町	54名	
古屋敷遺跡	平成25年11月9日(土)	大田市仁摩町	80名	
魚見塚古墳	平成25年11月23日(土)	松江市朝酌町	60名	
東淵寺古墳	平成25年12月21日(土)	松江市大庭町	50名	
合 計			約284名	

### 3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、当センターで保管している出土品などを活用して開催する講座。今年度は、親子等を対象とし体験的な活動を中心とした催しとして「いにしえ倶楽部」を3回、また、歴史や文化財に興味関心のある一般の方を対象とした講義形式の講座「いにしえ倶楽部連続講座」を5回計画した（うち1回は荒天のため中止）。

#### (1) いにしえ倶楽部

	会 場	内 容	参加者	実施日
第61回いにしえ倶楽部『チャレンジ! 古代鏡づくり』	松江市打出町 島根県埋蔵文化財調査センター研修室	遺跡出土青銅鏡についての展示解説とミニ金属鏡の研磨体験	90名	8月18日(日)
第62回いにしえ倶楽部『おやこで発掘体験 IN 仁摩』	大田市仁摩町 古屋敷遺跡	発掘調査中の遺跡で発掘体験と出土品の水洗い体験	46名	9月21日(土)
第63回いにしえ倶楽部『出雲の王墓探訪』	松江市朝酌町魚見塚古墳～ 矢田の渡し渡船～矢田町石屋古墳～大草町出雲国府跡	古墳や遺跡を歩いて訪ねるウォーキング	19名	10月20日(日)
合 計				約155名

#### (2) いにしえ倶楽部 連続講座

※7月28日の回のみ津和野町（当日荒天により中止）でほかは島根県埋蔵文化財調査センター。  
※平成25年1月から平成26年2月までの実施。

実施日	タイトル	講師	参加数	備考
平成25年1月20日(日)	ここまでわかった! 山代郷北新造院の屋根	林 健亮	54名	※H24年度
平成25年2月17日(日)	島根県の古代・中世製鉄遺跡	宮本 正保	61名	※H24年度
平成25年5月19日(日)	古代から中世の山持遺跡	原田 敏照	37名	
平成25年6月16日(日)	製作技術から見た出雲の玉作り	深田 浩	51名	
平成25年7月28日(日)	津和野の赤瓦	熱田 貴保	中止	津和野町教育委員会共催
平成26年1月19日(日)	島根県の横穴墓	勝部 智明	51名	
平成26年2月16日(日)	古代の交通路	久保田一郎	65名	
合 計		(平成25年1月～平成26年2月までの合計) 334名		
		(平成25年1月～平成26年2月までの合計) 189名		

### 4. 職場体験学習の受け入れ

県内の中学校及び特別支援学校が実施する職場体験の生徒を受け入れた。

実施日	学校等	実施内容
6月24日(月)～ 6月28日(金)	島根県立緑が丘養護学校高等部 3年生1名	デジタルトレース作業・遺物水洗注記・ 遺物貸出準備・遺物借用補助 等
9月25日(水)～ 9月27日(金)	松江市立湖北中学校3年生1名	土器実測・デジタルトレース・発掘調査・ 遺物整理 等

## 5. 心に残る文化財こども塾

県内の小・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を教材とし、古代体験活動や遺跡見学を盛り込んだ出前授業を行った。

	学校名	学年	人数	実施日	テーマ・主題	体験活動内容
1	出雲市立塩津小学校	5・6	5	5月21日	古代のアクセサリー 勾玉を作ろう	勾玉作り
2	雲南市立加茂小学校	6	77	5月22日	ふるさと加茂町の歴史を学ぼう	遺跡(加茂岩倉遺跡・荒神谷遺跡)でのフィールドワークとプラ鐸作り
3	雲南市立西小学校	6	31	5月22日	奈良時代の西小校区と奈良の大仏	大仏パネル
4	出雲市立久多美小学校	6	20	5月24日	久多美地域の古墳と勾玉について知ろう	勾玉作り
5	出雲市立西野小学校	6	112	5月24日	奈良時代の斐川と奈良の大仏	大仏パネル
6	浜田市立三階小学校	6	42	6月3日	奈良の大仏作りにかける思い	大仏パネル
7	大田市立鳥井小学校	5・6	19	6月5日	奈良の大仏と鳥井町の古代	大仏パネル、黒曜石ナイフ体験
8	飯南町立来島小学校	6	16	6月6日	「飯南にある歴史」を体感しよう	遺跡(塚山古墳・銀山街道ほか)でのフィールドワーク
9	浜田市立松原小学校	6	28	6月12日	奈良時代の浜田と奈良の大仏	大仏パネル、和同開珎作り
10	浜田市立石見小学校	6	73	6月13日	奈良の大仏と浜田市の古代	大仏パネル、和同開珎作り
11	出雲市立灘分小学校	6	44	6月14日	ふるさと島根や出雲の歴史にふれよう	土笛作り
12	大田市立池田小学校	5・6	13	6月18日	土器や遺跡が伝えている先人の生活を考えよう	土器づくり
13	川本町立川本中学校	1	21	6月18日	川本の歴史と文化財・川本と石見銀山の歴史	資料学習
14	雲南市立西日登小学校	5・6	18	6月19日	学校のまわりの遺跡や出土物を調べよう・古代食を体験しよう ～古代人の生活や工夫を考えよう～	古代衣装体験・古代食作り
15	奥出雲町立布勢小学校	5・6	15	6月21日	古代を体験しよう	金属鏡作り
16	平田市立平田小学校	6	75	6月25日	①戦国時代の平田小学校や平田の様子 ②奈良時代の大仏づくりと鑄造技術	大仏パネル
17	浜田市立弥栄小学校	6	12	6月27日	ふるさとの歴史にふれよう	勾玉作り・古代衣装体験
18	安来市能義小学校	6	16	7月2日	弥生～古墳時代の安来地方の様子	金属鏡作り
19	出雲市立窪田小学校	6	5	7月3日	ふるさとの歴史にふれよう歴史や古代の人々の生活にふれてみよう	古代衣装体験
20	雲南市斐伊小学校	6	18	7月3日	和同開珎と奈良の大仏	和同開珎作り・大仏パネル
21	隠岐の島町磯小学校	6	15	7月4日	隠岐の古代にタイムスリップ ～人々の知恵と技術を学ぶ～	勾玉作り
22	隠岐の島町中条小学校	6	9	7月5日	隠岐の古代にタイムスリップ ～人々の知恵と技術を学ぶ～	勾玉作り
23	浜田市立国府小学校	6	33	7月9日	古代の国府地区 ～古代寺院の瓦づくり～	瓦作り
24	雲南市立鍋山小学校	6	12	7月9日	三刀屋氏・堀尾氏と三刀屋城	遺跡(三刀屋城跡)でのフィールドワーク
25	松江市立八束小学校	6	34	9月10日	八束の歴史と朝鮮人参	資料学習(短縮授業対応)
26	大田市立第二中学校	1・2・3	266	9月26日	大田二中校区の遺跡を知る ～最近の発掘調査より～	資料学習(出土品見学中心)
27	安来市立母里小学校	6	11	10月1日	安来市の遺跡や古代の人々の生活にふれてみよう	勾玉作り・古代衣装体験
28	浜田市立美川小学校	6	16	10月17日	古代人の生活にふれてみよう	古代食作り
29	島根県立出雲養護学校 (みらい分教室)	小4～ 中3	13	11月1日	縄文・弥生人の生活を知ろう ～古代食づくり体験～	古代食作り

## 6. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

島根県埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。

	貸出セット名(セット番号)	申請者	使用目的	貸出期間
1	縄文土器セットC (8) 弥生稲作セットA (12)	益田市立吉田小学校長	児童(6学年)社会科学習教材とするため	4月15日～4月19日
2	縄文狩猟セットA (1) 弥生食卓セットC (14) 弥生稲作セットB (16)	松江市立八東小学校長	児童(6学年)社会科学習教材とするため	4月16日～4月30日
3	縄文狩猟セットA (1) 縄文採集セットA (4) 縄文土器セットB (7) 弥生食卓セットB (13)	松江市立湖南中学校長	1年生の社会科(歴史的分野)授業教材とするため	5月28日～6月14日
4	縄文狩猟セットA (1) 縄文採集セットA (4) 弥生食卓セットA (12) 弥生稲作セットA (15) 古代食作り体験用具	松江市立第二中学校長	1年生の総合的な学習の教材とするため	10月16日～10月21日
合計				4校14セット

※当センター職員による子ども塾等での利用は含まない。

## 7. 平成 25 年度 教員のための文化財活用講座

当センターでは、県内の小中学校教員等を対象とし、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため地域の文化財や郷土の歴史資料等を活用した学習活動についての研修を年1回開催している。

今年度は、仁多郡教育研究会社会科部会の夏季研修会において実施した。

開催日：平成 25 年 8 月 20 日(火) 9：30～12：00

主 催：島根県埋蔵文化財調査センター・仁多郡教育研究会社会科部会

協 力：奥出雲町教育委員会・

石見銀山世界遺産センター・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立八雲立つ風土記の丘

会 場：カルチャープラザ仁多 2 階青年婦人研究室 ほか（奥出雲町三成）

参加者：9 名

内 容：講義「奥出雲町の遺跡と文化財～授業にいかすワンポイントアドバイス～」

高尾昭浩（奥出雲町教育委員会）、守岡利栄（島根県埋蔵文化財調査センター）

実習・資料紹介「歴史学習に役立つ教材の紹介と体験活動実習」

伊藤徳広（島根県立古代出雲歴史博物館）、武田尚志（島根県埋蔵文化財調査センター）

## 8. 埋蔵文化財調査センター見学

展示室や整理作業の見学案内を行った。

※平成 25 年 1 月 4 日～平成 26 年 1 月 31 日までに申請があったもの。

月 日	見学者（団体）	時間	人数	見学	体験
3月10日	出雲市伊波野公民館研修会	120分	35名	○	
4月25日	島根大学考古学研究室	60分	10名	○	
8月30日	シマネスクくにびき学園東部校社会文化科	60分	35名	○	
11月11日	かしまの歴史・文化を学ぶ会	85分	30名	○	
11月29日	神戸システム	30分	12名	○	
合 計					122名

## 9. 職員の講師派遣（※平成25年1月4日～平成26年1月4日までに申請があったもの）

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
4月13日	貴重な発見が相次いだ大田市仁摩町庵寺古墳群	八雲立つ風土記の丘展示学習館（松江市）	島根県立八雲立つ風土記の丘所長	深田 浩
5月25日	出雲の玉と日本海交流	京都府立丹後郷土資料館（京丹後市）	京都府立丹後郷土資料館長	深田 浩
6月8日	大注目の遺跡！西川津遺跡の全貌	八雲立つ風土記の丘展示学習館（松江市）	島根県立八雲立つ風土記の丘所長	原田敏照
6月15日	庵寺古墳群の発掘調査	鳥取県立図書館大研修室（鳥取市）	鳥取県埋蔵文化財センター所長	深田 浩
7月7日	古代の勾玉作り（体験活動）	雲南市立木次小学校（雲南市）	雲南市立木次小学校PTA4年学年委員長	守岡利栄
9月29日	津和野の赤瓦	津和野町民センター（津和野町）	津和野町伝統文化活性化協議会会長	熱田貴保
11月10日	出雲の玉生産と玉文化と流通	徳島市立考古資料館（徳島市）	徳島市立考古資料館長	深田 浩
12月14日	古代から近世の大橋川の渡	八雲立つ風土記の丘展示学習館（松江市）	島根県立八雲立つ風土記の丘所長	勝部智明

## 10. その他

- ①サンレイクフェスティバル2013への参加（主催：島根県立青少年の家ほか）

期日：平成25年10月20日（日）9：30～16：00

会場：島根県立青少年の家「サン・レイク」

内容：勾玉作り体験ブース（約130個）

- ②「授産センターよつばふれあいフェスティバル」への参加（主催：授産センターよつばほか）

期日：平成25年11月2日（土）10：00～15：00

会場：授産センターよつば

内容：勾玉作り体験ブース（約62個）・展示室開放

- ③「古曾志公園第3回古代音楽祭」への協力（主催：指定管理者株式会社MIしまね）

期日：平成25年9月29日（日）10：00～16：30

会場：古墳の丘古曾志公園野外ステージ等

内容：勾玉作り・火おこし体験ブース（音楽祭190人参加）

- ④「古墳の丘古曾志公園・秋の古代ウォーキング」への協力（主催：指定管理者株式会社MIしまね）

期日：平成25年10月5日（土）9：30～12：00

会場：埋文センター・古墳の丘古曾志公園等

内容：古墳の丘古曾志公園内のウォーキングでの解説（14人参加）

## 11. 資料の貸出・調査等

- (1) 資料調査（※平成25年1月6日から平成25年12月27日までに申請があったもの）  
研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

資 料	点数	申 請 者	月 日
下山遺跡出土石器ほか	9	古代文化センター研究職員	1月18日
島田遺跡須恵器	1	古代文化センター研究職員	1月21日～2月1日
タテチョウ遺跡木製品ほか	39	荒神谷博物館学芸員	1月24日
出雲国府土器ほか	204	長野県在住研究者	1月28日～30日
青木遺跡木簡ほか	3	古代出雲歴史博物館学芸員	1月30日～31日
島田遺跡須恵器	1	古代文化センター研究職員	2月1日～3月29日
森遺跡縄文土器	247	京都大学学生	2月19日～20日
廻田1号墳埴輪ほか	94	古代文化センター研究職員	2月21日～22日
家ノ後Ⅱ遺跡石器ほか	74	広島大学准教授	2月21日～22日
山持遺跡朝鮮半島系土器	19	大阪大谷大学学生	2月26日
岩屋口南遺跡勾玉ほか	329	徳島市立考古資料館館長	3月11日
宮ノ前遺跡旧石器ほか	33	千葉県教育振興財団職員	3月17日
板屋Ⅲ遺跡鍛冶関連遺物ほか	106	鳥取県埋蔵文化財センター職員	5月8日
原田遺跡縄文土器ほか	271	古代出雲歴史博物館学芸員	6月1日～7月31日
東船遺跡弥生土器ほか	4	古代出雲歴史博物館学芸員	6月7日
中祖遺跡石器ほか	2	出雲弥生の森博物館職員	6月18日
西川津遺跡木製品	2	古代出雲歴史博物館学芸員	6月24日
板屋Ⅲ遺跡縄文土器ほか	42	古代出雲歴史博物館学芸員	7月8日
勝負遺跡弥生土器ほか	10	荒神谷博物館学芸員	7月9日
板屋Ⅲ遺跡縄文土器	1	国立歴史民俗博物館准教授	7月10日
古曾志大谷1号墳埴輪ほか	78	島根大学学生	7月17日～8月2日
山代郷南新造院跡瓦ほか	65	出雲弥生の森博物館職員	7月22日
原田遺跡石器	365	(公財)大阪市博物館協会職員	8月2日
山持遺跡木製品ほか	2	出雲玉作資料館館長	8月6日
蔵小路西遺跡木製品ほか	51	八雲立つ風土記の丘学芸員	8月8日
北原本郷遺跡耳栓ほか	6	古代出雲歴史博物館学芸員	8月9日～31日
古曾志大谷1号墳埴輪ほか	78	島根大学学生	9月4日～9月30日
中竹矢遺跡瓦ほか	43	(公財)松江市スポーツ振興財団職員	9月10日～平成26年3月31日
林原遺跡土偶ほか	17	島根大学学生	9月26日
九景川遺跡古銭ほか	95	出雲弥生の森博物館職員	10月4日
山持遺跡楽浪土器ほか	30	奈良県立橿原考古学研究所職員	10月15日
古曾志大谷1号墳埴輪ほか	23	島根大学学生	11月5日～7日
湯里天神遺跡土師器ほか	97	文化財課世界遺産室職員	11月5日～11日
東船遺跡石器ほか	13	古代出雲歴史博物館学芸員	11月7日
森遺跡暗文土師器ほか	35	出雲弥生の森博物館職員	12月3日
白枝本郷遺跡馬歯ほか	29	八雲立つ風土記の丘学芸員	12月13日

資 料	点数	申 請 者	月 日
高広遺跡須恵器ほか	87	出雲弥生の森博物館職員	12月20日
上野Ⅱ遺跡鉄器ほか	141	古代出雲歴史博物館学芸員	平成26年1月16日～2月14日

(2) 写真資料等（※平成25年1月6日から平成25年12月27日までに申請があったもの）  
単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使用目的	貸出期間
鉄穴内遺跡鍛冶関連遺物	1	島根大学	リーフレット掲載	1月22日～3月31日
鉄穴内遺跡鍛冶関連遺物ほか	5	雲南市教育委員会	HP掲載	1月21日～25日
山代二子塚古墳子持壺	1	毎日新聞社	新聞掲載	1月30日～2月28日
荒神谷遺跡遠景ほか	3	鳥取県立むきばんだ史跡公園	書籍掲載	2月2日
馬場遺跡平安時代の墓ほか	9	出雲弥生の森博物館	企画展示	2月7日～2月28日
鉄穴内遺跡鍛冶関連遺物ほか	2	奥出雲町教育委員会	報告書掲載	2月8日～28日
青木遺跡1号墓ほか	3	山陰ケーブルビジョン(株)	テレビ放映	2月8日～18日
鉄穴内遺跡鍛冶関連遺物	1	(株)山陰中央新報社	情報誌掲載	2月12日～3月15日
上野1号墳円筒埴輪ほか	3	文化庁	書籍掲載	2月22日～3月31日
上塩冶横穴墓群石棺	1	出雲弥生の森博物館	企画展示	2月22日～28日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	(株)学研教育出版	電子教材掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか	5	カズ企画	書籍掲載	掲載許可
原田遺跡空撮写真ほか	3	日本旧石器学会	HP掲載	掲載許可
下山遺跡屈折像土偶	1	福島市教育委員会	遺跡説明版掲載	3月21日～31日
西川津遺跡木製装身具類ほか	12	荒神谷博物館	特別展示	3月27日～7月27日
来美廃寺軒丸瓦ほか	2	(公財)山口県埋蔵文化財センター	スポット展示	4月1日～9月30日
鉄穴内遺跡鍛冶関連遺物	1	島根大学	企画展示	掲載許可
三田谷Ⅰ遺跡土器	1	個人	論文等掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣	2	ひらたCATV(株)	テレビ放映	4月22日～5月20日
荒神谷遺跡青銅器出土状況	1	小学館クリエイティブ	書籍掲載	掲載許可
魚見塚古墳現地説明会資料ほか	6	(株)ジャパン通信情報センター	雑誌掲載	4月26日～7月31日
青木遺跡神像ほか	5	(株)終風舎	書籍掲載	4月26日～5月20日
大志戸Ⅱ跡跡炉近景ほか	4	国立歴史民俗博物館	企画展示	5月1日～7月12日
上野Ⅱ遺跡鉄素材・鉄鏃ほか	3	(株)今井書店	フォーラム報告書	5月17日～6月18日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	(株)美術出版社	書籍掲載	5月21日～6月15日
荒神谷遺跡銅鐸調査状況ほか	4	産経新聞	新聞掲載	掲載許可
タタラ山第1遺跡地下構造ほか	2	(株)今井書店	フォーラム報告書	5月29日～6月8日
姫原西遺跡1号古墓ほか	17	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	6月14日～7月19日
荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	朝日学生新聞社	新聞・書籍掲載	6月19日～7月14日
岡田山1号墳銘文入大刀	1	(有)スタジオ・ジップ	書籍掲載	6月25日～8月5日
西川津遺跡等土笛写真	1	越前町織田文化歴史館	企画展示	7月17日～9月30日
青木遺跡Ⅳ区全体図	1	(公財)文化財建造物保存技術協会	書籍掲載	掲載許可
青木遺跡神像	1	個人	論文掲載	掲載許可

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使用目的	貸出期間
青木遺跡掘立柱建物群ほか	20	古代出雲歴史博物館	常設展示図録掲載	8月6日
権現山城跡礫石検出状況ほか	8	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月7日～9月30日
荒神谷遺跡青銅器出土状況ほか	4	(株)山陰放送	テレビ放映	放映許可
富田川河床遺跡白磁皿	2	個人	雑誌掲載	掲載許可
竹ヶ崎遺跡土器検出状況ほか	3	荒神谷博物館	企画展示	8月16日～9月30日
三田谷Ⅰ遺跡土器	3	個人	研究会資料	掲載許可
福富Ⅰ遺跡玉作工房跡ほか	24	徳島市教育委員会教育長ほか	特別企画展示	9月2日～10月31日
志谷奥遺跡調査写真ほか	13	個人	講座資料掲載	9月4日～10月5日
荒神谷遺跡銅剣ほか	3	(株)岩崎書店	書籍掲載	9月12日～30日
洪山池遺跡落とし穴ほか	16	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月13日～10月3日
タテチョウ遺跡イヌ頭骨	1	(株)同成社	書籍掲載	掲載許可
上野1号墳勾玉・管玉	1	(株)ユニフォトプレスインターナショナル	副教材掲載	掲載許可
洪山池遺跡落とし穴ほか	16	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月13日～10月3日
西川津遺跡環濠ほか	12	(一社)日本考古学協会	HP掲載	9月19日～11月30日
権現山城跡礫石検出状況ほか	12	ハーベスト出版	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣調査状況ほか	2	(株)ダイナミトレポリューションカンパニー	テレビ放映	放映許可
荒神谷遺跡銅矛・銅鐸出土状況	1	(株)G. B.	雑誌掲載	10月8日～22日
上野1号墳鱗付円筒埴輪	1	(株)カドカワ中経出版ブランドカンパニー	雑誌掲載	10月8日～25日
加茂岩倉遺跡銅鐸	2	(株)浜島書店	歴史教材掲載	掲載許可
九景川遺跡SK01発見時ほか	2	出雲弥生の森博物館	ミニ企画展示	10月21日～平成26年1月20日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	(有)キックオフプラス	書籍掲載	掲載許可
庵寺古墳群15号墳	1	仁摩公民館	書籍掲載	11月28日～平成26年1月8日
荒神谷遺跡銅鐸	1	グループ・コロンプス(有)	書籍掲載	12月1日～平成26年2月28日
西川津遺跡等土笛写真ほか	3	(一社)北海道大学出版	書籍掲載	12月13日～平成26年2月28日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤	1	出雲弥生の森博物館	パンフレット掲載	12月13日～平成26年1月25日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	(株)帝国書院	教科書掲載	掲載許可
原田遺跡空撮写真ほか	6	(公財)広島県教育事業団	記録集掲載	12月16日～27日
西川津遺跡土笛図面ほか	42	(一社)北海道大学出版	書籍掲載	掲載許可

(3) 資料貸出(※平成25年1月6日から平成25年12月27日までに申請があったもの)  
所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使用目的	貸出期間
五反配遺跡木製品ほか	4	古代出雲歴史博物館	特別展示	2月1日～6月28日
島田1号墳人物埴輪ほか	2	八雲立つ風土記の丘	特集展示	2月5日～7月31日
馬場遺跡須恵器ほか	110	出雲弥生の森博物館	特別展	3月1日～5月14日
五反配遺跡木製品	1	古代出雲歴史博物館	特別展示	3月22日～6月28日
西川津遺跡木製品ほか	14	荒神谷博物館	特別展示	6月24日～9月20日
沖手遺跡丸木舟	1	古代出雲歴史博物館	企画展示	3月30日～12月27日
五反配遺跡鞘形木製品ほか	13	荒神谷博物館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日

資 料 名	点数	貸 出 先 等	使用目的	貸出期間
大東高校グラウンド遺跡玉類	4	松江市立出雲玉作資料館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
今佐屋山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
団原古墳土器ほか	731	八雲立つ風土記の丘	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
原田遺跡石器ほか	1533	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	21	三瓶自然館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
前立山遺跡土器ほか	233	吉賀町水源会館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
古志本郷遺跡土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
石見銀山遺跡藤田地区「土壁」復原模型	1	石見銀山世界遺産センター	常設展示	4月1日～平成26年3月31日
大志戸Ⅱ銅跡炉壁ほか	11	国立歴史民俗博物館	企画展示	6月3日～11月29日
中竹矢遺跡鹿角装刀子ほか	716	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	6月14日～9月30日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤ほか	3	出雲弥生の森博物館	イベント展示	7月1日～8月2日
島田Ⅰ号墳人物埴輪ほか	2	八雲立つ風土記の丘	常設展示	7月31日～平成26年3月31日
勝負遺跡コシキ形土器ほか	11	荒神谷博物館	企画展示	8月1日～11月15日
板屋Ⅲ遺跡縄文土器ほか	277	古代出雲歴史博物館	企画展示	8月1日～平成26年1月15日
島田池遺跡勾玉ほか	83	古代出雲歴史博物館	イベント展示	8月6日～23日
蔵小路西遺跡漆器ほか	57	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月26日～11月29日
出雲国分寺瓦	17	(公財)松江市スポーツ振興財団	委員会資料	8月27日～30日
西川津遺跡獣骨ほか	152	古代出雲歴史博物館	企画展示	9月9日～平成26年1月15日
西川津遺跡木製品ほか	35	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展示	9月26日～平成26年1月31日
福富Ⅰ遺跡管玉未成品ほか	524	徳島市教育委員会教育長ほか	特別企画展示	9月30日～12月9日
九景川遺跡土師器ほか	27	出雲弥生の森博物館	企画展示	10月11日～平成26年1月31日
東船遺跡石鏃ほか	13	古代出雲歴史博物館	企画展示	11月27日～平成26年3月31日
白枝本郷遺跡馬歯ほか	25	八雲立つ風土記の丘	ミニ企画展示	12月17日～平成26年2月20日

職員への貸出 68 件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

資 料 名 (点数)	貸 出 先	使 用 目 的	貸 出 期 間
赤外線テレビカメラほか	古代文化センター	漆紙文書調査	5月14日～20日
勾玉製作道具	荘原コミュニティーセンター	夏休みこども体験教室	7月16日
撮影機材	古代文化センター	資料撮影	7月22日～30日
プロジェクターほか	山陰古代時研究会	研究会	8月2日～3日
撮影機材	古代文化センター	資料撮影	8月9日～12日
火起こし道具 (12)	湖北中学校	学習教材	9月12日～24日
撮影機材	古代文化センター	資料撮影	10月3日～4日
火起こし道具 (10)	教育センター	イベント	11月1日～6日
火起こし道具 (2)	久多美小学校	学習教材	11月18日～25日
撮影機材	古代文化センター	資料撮影	12月6日～10日

## (5) 施設利用

月 日	内 容	使 用 者
8月3日	研修室利用	山陰古代史研究会
12月18日・19日	X線撮影	島根大学・(一財)米子市文化財団・益田市教育委員会・出雲市文化財課

## (6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

2013年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	1,161	1,233	1,264	1,309	1,207	1,154	1,312	1,205	1,037	1,263	1,079	957	14,181

### Ⅲ 研 究 事 業

島根県古代文化センターの研究事業のうち、基礎研究「考古資料基礎調査研究事業」、「出雲国風土記の基礎研究（古代地域社会研究）」及びテーマ研究について、以下のとおり当センター職員も参画し、共同研究の一翼を担った。

調査事業名	細事業	当センターの担当者
考古資料基礎調査研究 青銅器調査	①三木資料整理 ②荒神谷再実測	守岡利栄、是田 敦
考古資料基礎調査研究 墓制調査	①東淵寺古墳、魚見塚古墳調査・整理 ②百塚古墳群古天神古墳調査・整理 ③石見地方古墳	池淵俊一、 原田敏照、 勝部智明
考古資料基礎調査研究 生産遺跡調査(製鉄遺跡)	①再整理・隠地発掘調査	宮本正保、勝部智明
考古資料基礎調査研究 基礎資料調査	意宇平野集落遺跡出土品再整理	池淵俊一、原田敏照、 東森 晋
出雲国風土記の基礎研究 古代地域社会研究		久保田一郎
テーマ研究	近世・近代の石見焼の研究	熱田貴保、東森 晋
テーマ研究	隠岐黒曜石の研究	深田 浩
テーマ研究	日本海沿岸における潟湖の景観と生業に関する研究	原田敏照
テーマ研究	前方後方墳と東西出雲の成立に関する研究	池淵俊一
テーマ研究	離島隠岐に残る文化財の特質に関する研究	林 健亮

## IV 研修・調査指導事業

### 1. 埋蔵文化財基礎研修

鳥根県及び県内市町村教育委員会等の埋蔵文化財担当職員のうち、埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。今年度は募集に対し応募のあった下記について実施した。

#### 【埋蔵文化財基礎講座】

日 時：平成 25 年 4 月 15 日(月) ～ 4 月 19 日(金)

場 所：埋蔵文化財調査センター研修室ほか

参 加：2 名

講 師：鳥根県教育庁文化財課職員及び鳥根県埋蔵文化財調査センター職員

内 容：(1)所長講話 (2)文化財保護行政の歩みと文化財行政の現状  
(3)文化財保護法と事務手続き (4)発掘調査に関連した諸科学  
(5)発掘調査の計画と安全管理 (6)考古学概説 I～VI (7)遺物実測概論・実習  
(8)文化財写真概論 (9)報告書の作成と遺物の整理方法

### 2. 埋蔵文化財専門研修

鳥根県及び県内市町村埋蔵文化財担当者等を対象とし、埋蔵文化財発掘調査に必要な高度な専門知識や技術の習得を目的とした研修を実施した。

#### 【第 1 回】

日 時：平成 25 年 5 月 22 日(水) 13：30～16：05

場 所：鳥根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：57 名

内 容：考古資料を安全に運ぶ知識と技術

- (1)講義「考古資料の特質と取り扱い」 澤田正明（鳥根県立古代出雲歴史博物館）  
(2)実習「身近な材料を使った考古資料の簡易梱包」

川本正和・宮崎俊彦(日本通運株式会社松江支店美術品作業指導員)

#### 【第 2 回】

日 時：平成 25 年 8 月 2 日(金) 13：30～16：00

場 所：鳥根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：55 名

内 容：(1)講演「出土文字資料からみた出雲国府跡」

佐藤 信（東京大学大学院人文社会系研究系研究科教授）

- (2)報告「奈良文化財研究所文化財研修報告・報告書作成課程」

是田 敦（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

#### 【第 3 回】

日 時：平成 25 年 11 月 5 日(火) 13：30～16：00

場 所：大庭公民館研修室・東淵寺古墳（松江市大庭町）・魚見塚古墳（松江市朝酌町）

参 加：32 名

内 容：古墳の発掘調査法（調査中の古墳現地研修）

- (1)講義「墓制調査研究事業の経緯と現在の調査について」

池淵俊一（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

(2)現地研修Ⅰ「東淵寺古墳の調査」 原田敏照（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

(3)現地研修Ⅱ「魚見塚古墳の調査」 池淵俊一（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

#### 【第4回】

日 時：平成25年11月29日（金）9：30～15：30

場 所：鳥根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：46名

内 容：デジタル時代の文化財写真

(1)講義「埋文写真デジタル化の必要性と現状」 中村一郎（奈良文化財研究所企画調整部写真室主任）

(2)実技：遺物撮影、色管理の実際作業等 中村一郎（奈良文化財研究所企画調整部写真室主任）

#### 【第5回】

日 時：平成26年2月14日（金）13：30～16：45

場 所：鳥根県埋蔵文化財調査センター研修室

参 加：42名

内 容：平成25年度に行った発掘調査の速報報告会

(1)報告「出雲市上塩冶横穴墓群の発掘調査」 曾田辰雄（出雲市文化財課）

(2)報告「出雲市杉沢遺跡の発掘調査」 奥原このみ（出雲市文化財課）

(3)報告「松江城下町遺跡（南田町134-1）の発掘調査」 徳永桃代（（公財）松江市スポーツ振興財団）

(4)報告「邑南町久喜・大林銀山遺跡の調査事業」 角矢永嗣（邑南町教育委員会）

(5)報告「大田市古屋敷遺跡の発掘調査」 伊藤 智（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

(6)報告「松江市東淵寺古墳の発掘調査」 原田敏照（鳥根県埋蔵文化財調査センター）

### 3. 指導等

県内市町村教育委員会等の依頼を受けて行った。

月 日	依頼者	遺跡名など	内 容	派遣者
5月10日	出雲市長（文化財課）	杉沢遺跡	横穴墓・古代道路の調査	原田敏照
10月11日	出雲市長（文化財課）	杉沢遺跡	横穴墓の調査	原田敏照
1月15日	（公財）松江市スポーツ振興財団	松江城下町遺跡（南田町134-1）	脆弱遺物の取り上げと保管	澤田正明

## V 会議・講習会参加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

(1)総会 平成25年5月30日～31日 兵庫県神戸市 舞子ビラ神戸

(2)中国・四国・九州ブロック会議 平成25年10月10日 福岡県久留米市 えーるピア久留米

(3)研修会 欠席

文化庁が主催する埋蔵文化財担当職員等講習会に参加した。

(1)第1回講習会 平成25年9月10日～12日 岐阜県岐阜市 岐阜県立図書館

(2)第2回講習会 平成26年2月5日～7日 栃木県宇都宮市 栃木県総合文化センター

# Ⅵ 発掘調査事業

## 受託事業

平成25年度は4事業7遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は国直轄事業の一般国道9号改築事業（朝山大田道路、静間仁摩道路）、斐伊川水系大橋川河川改修事業、国道432号（大庭バイパス）改築事業で、道路建設3、河川改修1である。

大田市波根町の旭山遺跡では中世～近世・近代の集落が、同市久手町の鈴見B遺跡では丘陵斜面に作られた奈良時代の集落が確認された。今年度から調査を開始した大田市仁摩町の古屋敷遺跡は仁万平野に立地し、弥生時代の水田跡と縄文時代晩期の炉跡群や木棺墓を検出した。

松江市矢田町の大橋川南岸に位置する灘遺跡では、近世～近代にかけての大橋川護岸施設が確認されたほか、奈良時代の遺物が出土しており出雲国庁から隠岐に通じる交通の要衝に位置する点で注目される。また大庭町の茶臼遺跡は昨年度調査を実施した柳堀遺跡の北側に位置し、旧河道から弥生時代、古墳時代、奈良時代、中世の各時代の遺物が出土した。

## 学術調査

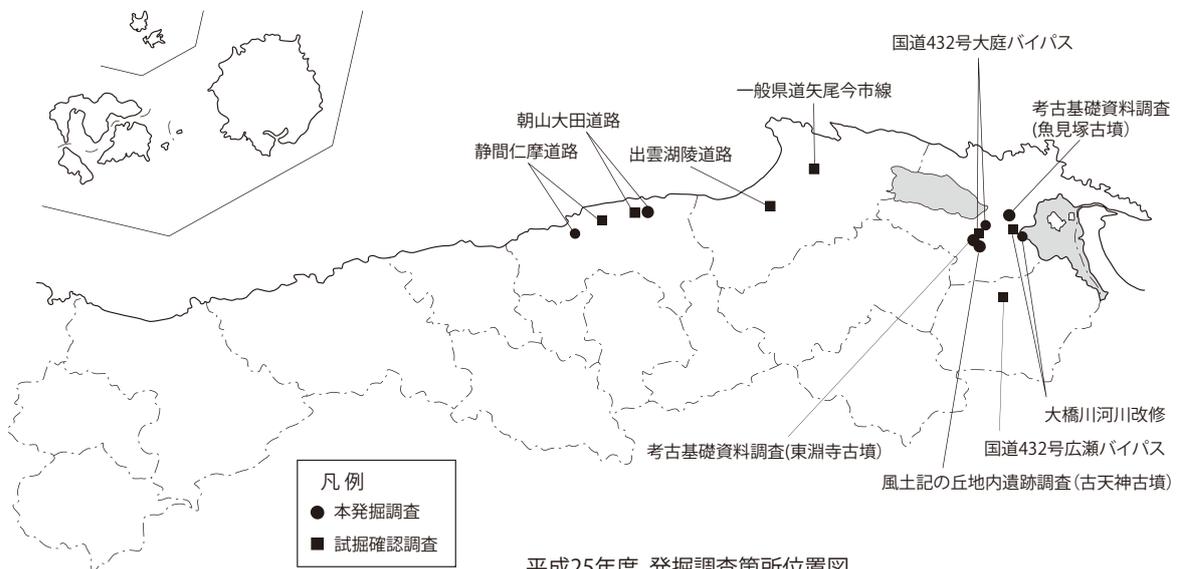
6世紀後半に築造された県指定史跡古天神古墳（松江市大草町）、東淵寺古墳（同大庭町）、魚見塚古墳（同朝酌町）の調査を実施した。古天神古墳は全長27mの前方後方墳で、主体部は古式の石棺式石室である。今回墳丘崩落部分の整備工事に先立ち調査を行い、墳丘の築造状況が確認できた。東淵寺古墳では昨年度に引き続き墳形確認を目的に調査を行い、古墳の西側でくびれ部と周溝の一部を確認できたことから前方後円墳であることが判明した。魚見塚古墳は62mの前方後円墳で、墳丘の築造状況等を把握するため、後円部西側と前方部前面で調査を実施した。墳丘斜面のトレンチ調査の結果、墳丘の下半部は地山を削り出し、上半部は盛り土で築造されている状況が確認できた。

## 分布調査

今年度は大橋川河川改修事業、一般国道9号（湖陵多岐道路、大田静間道路、三隅益田道路）改築事業、国道432号（大庭バイパス）改築事業の各予定地で分布調査を実施した。

## 報告書作成

一般国道9号（朝山大田道路、仁摩温泉津道路）改築事業にかかる6遺跡の調査報告書と、史跡出雲国府跡の総括報告書を作成した。（内訳はⅧ刊行物3.発掘調査報告書に掲載）



# 1. 一般国道9号(朝山大田道路)改築工事に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は、国土交通省から委託を受けて平成22年度から実施している。今年度は大田市久手町の中尾H遺跡、鈴見B遺跡、同市波根町の旭山遺跡の発掘調査を実施した。

## 中尾H遺跡

本遺跡は大田市久手町刺鹿に所在する。江谷川の支流が形成した狭い谷の中、標高約18m付近に位置する。現地調査期間は平成25年5月31日から8月6日。高圧線鉄塔の移転先となる約250m<sup>2</sup>について、調査員1名と調査補助員2名の体制で実施した。

**遺跡の概要** 調査区の北西側には遺物包含層が残され、その下層から旧河道が検出された。この旧河道中は古代の内に埋没したと考えられる。

出土遺物には磨製石斧1点、少量の木製品なども含まれているが、大半は古墳時代後期から奈良～平安時代の須恵器・土師器である。土製支脚や移動式竈、甕などの煮炊具、須恵器坏類などの供膳具が中心となっているが、手づくねの坏も含まれている事から祭祀が行われた可能性も考えられる。なお、今次調査区の南側で実施した平成22年度の調査では縄文土器も多量に出土しているが、今回は出土しなかった。

**まとめ** 出土遺物の様相から、遺跡北側の丘陵上などに古墳時代後期から古代の集落が展開していたと考えられる。旧波根湖周辺では石見有数とも言える横穴墓群が知られており、それらを形成した人々の集落を検討していく上で貴重な資料となった。(林 健亮)

## 鈴見B遺跡

鈴見B遺跡は、大田市久手町波根西に所在し、大原川左岸の支谷からこの谷に西接した丘陵斜



中尾H遺跡・鈴見B遺跡・旭山遺跡の位置 (1/50,000 石見大田)



中尾H遺跡の完掘状況

面にかけて立地する。平成 24 年度には谷部を発掘調査し、おもに古墳時代から奈良時代にかけての遺物包含層を確認した。今年度は、昨年度調査区上方の丘陵斜面部の調査を実施した。現地調査期間は平成 25 年 6 月 3 日から 9 月 24 日まで、調査面積は 1,666㎡、調査体制は調査員 1 名と嘱託職員 1 名、調査補助員 1 名である。

**遺跡の概要** 調査区の北側で 3 段、南側で 4 段の加工段を検出した。これらの加工段からは

炭窯と考えられる炭溜まりや、炭化物を含む浅い土坑、溝状遺構や石組み遺構が見られた他、多くの柱穴を検出したが明確に建物跡と言えるような並びを確認することができなかった。南側にある加工段の段差は、地すべり痕と推定される。集落の廃絶後に起こった地すべりであり、元は両加工段が同一面だったと考えられる。

遺物は、須恵器、土師器、刀子、フイゴの羽口などがある。時期は 6 世紀後半から 7 世紀を中心とし、一部の出土遺物は 5 世紀半ばまでさかのぼる。

**ま と め** 鈴見 B 遺跡の発掘調査では、丘陵の東斜面の地すべりで形成された複数の平坦面を利用して、6 世紀後半ごろに小規模な集落が営まれ、7 世紀のうちには廃絶していることを確認した。

(久保田一郎)

## 旭山遺跡

本遺跡は大田市波根町上川内に所在する。波根川に続く小河川が形成した谷部に所在し、付近の標高は 12 m ほどである。現地調査は、平成 25 年 9 月 9 日から 12 月 9 日に、調査員 1 名、嘱託職員 1 名、調査補助員 1 名の体制で実施した。調査面積は約 700㎡であった。

**遺跡の概要** 近世～近代の建物跡・廃棄土坑の他、古代の加工段 2 面を検出した。また、中世の出土遺物もあるが、耕作により削平されていると考えられる。遺跡の東側では加工段 2 面を検出した。加工段からは、須恵器高台付き坏や糸切り痕のある土師器坏などが出土しており、古代の建物があったと考えられる。

出土遺物には古代の須恵器、古代末から中世の土師器、中近世の陶磁器、近世近代の陶磁器類などが見られる。

**ま と め** 旭山遺跡付近は谷奥の南向き緩斜面で、古くから石見から出雲方面へと続く道が通っていたことが想像される。旧波根湖を望む波根地区には、古代の大規模な塔跡などで知られる天王平廃寺がある。今回の発見は小さな加工段ではあるが、当時の様相を考える上で貴重な資料を提供したと言える。

(林 健亮)



鈴見 B 遺跡全景



旭山遺跡 完掘状況

## 2. 一般国道9号(静間仁摩道路)改築工事に伴う発掘調査

**事業概要** この調査は、国土交通省から委託を受けて実施している。今年度は大田市五十猛町所在の鳴滝山鉛鉍山古道・御大師山古道と同市仁摩町所在の古屋敷遺跡の発掘調査を実施した。

### 鳴滝山鉛鉍山古道・御大師山古道

本遺跡は大田市大屋町と五十猛町を流れる逢浜川中流に位置する。2つの古道は逢浜川方面から鳴滝山鉛鉍山と御大師山に向かう道で、現在も森林や池の管理、大師堂への参拝に利用されている。鳴滝山鉛鉍山は

かつて石見銀山の銀精錬に使われた鉛を産出した鉍山で、御大師山は山頂の祠に3体の大師蔵を納めている山である。調査期間は平成25年9月9日～10月19日で、調査員2名と調査補助員1名の体制で実施した。調査面積は5,650㎡であった。古道の構造を調べるトレンチ調査と地形測量を行った。トレンチ調査では鳴滝山鉛鉍山古道で斜面を削り整形した路面を確認し、御大師山古道では斜面の山側は掘削し谷側は盛土をして形成した路面を確認した。

### まとめ

鳴滝山鉛鉍山古道は頑丈な構造でないことから、鉛を石見銀山に運搬するより、逢浜川方面から物資や人員を運ぶために使用された道である可能性が高いことがわかった。御大師山古道は急斜面を掘削と盛土で造成してまで造られており、大師信仰の厚さが伺える。

(是田 敦)



遺跡位置図 (1/50,000 温泉津、大浦)



御大師山の山頂にある祠



鳴滝山鉛鉍山古道

## 古屋敷遺跡

本遺跡は大田市仁摩町を流れる潮川の中流域に位置し、遺跡付近から河口にかけては平野が広がる。調査前は標高約8mの水田となっており、平成7・8年には仁摩町（現大田市）教育委員会により発掘調査が実施され、中・近世の建物跡や弥生時代前期の土坑などを確認している。調査期間は平成25年6月10日～平成26年2月14日で、調査員2名と調査補助員4名の体制で実施した。調査面積は2,330㎡であった。なお、調査は、今年度の対象範囲をA区とB区に分けて実施した。

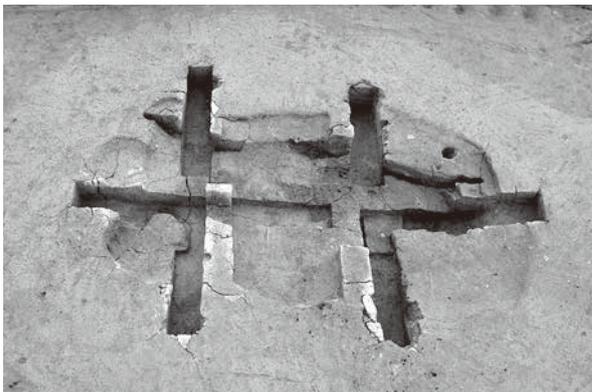
### 遺構の概要

A区では、縄文時代晩期後葉の層で墓と考えられる土壙を1基確認した。土壙は長さ2.3m、幅1.2m、深さ0.3mで、土壙内には蓋板（105×40cm）、側板（40×10cm）、底板（40×10cm）と考えられる板状の木質が部分的に残存しており、底板と考えられる板材の上から人の大腿骨（長さ30cm）と考えられる骨が出土した。以上のことからこの土壙は木棺墓と考えられ、木棺の規模は推定で、長さ1.9m、幅0.6mであり、側板で小口板を挟みこむように作られたと推測される。墓壙内からは副葬品の可能性が考えられる石鏃が出土している。また木棺墓を検出した層より下層の縄文時代晩期後葉の遺物包含層から彩文土器の浅鉢が出土した。この他、縄文時代晩期の火処（焼土が浅いくぼみに堆積したもの。炉跡）、ピットが検出された。

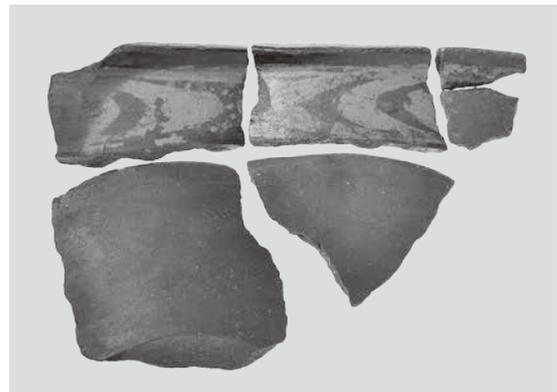
B区では、古墳時代の河道、弥生時代の水田遺構を確認したほか、縄文時代の遺構面（以下縄文第〇面）を複数検出した。水田遺構はB区西端付近で検出され、幅約50cm、高さ約10cmの畦畔による区画が認められた。区画の一辺は3m～5mである。縄文時代の遺構面は、最上位にある縄文第1面、その下にある縄文第2面はいずれも縄文時代晩期と考えられる。検出した遺構は火処、貯蔵穴及び多数のピットである。火処は平面形が円形または長楕円形で、小さなものは径20cm、大きなものでは径50cm以上のものもある。縄文第3面ではピットを多数検出した。いずれの遺構面でも明確な住居跡は確認できなかったが、縄文時代晩期には集落が営まれていたことがうかがえる。

また、弥生時代・縄文時代の自然河道の跡や縄文時代の湿地が確認されており、現在遺跡のすぐ北側を流れる潮川をはじめ、この遺跡が河川の影響を強く受けていたことが考えられる。

**ま と め** 縄文時代晩期の木棺墓は、山陰地方では初めての検出例である。また、彩文土器は赤色の顔料を使用して東日本の土器に表現される文様が施されており、島根県では万場Ⅰ遺跡（雲南市）に次ぎ2遺跡目の出土例である。石見地域の沿岸部ではこれまで縄文時代の集落はあまり確認されていなかったが、今回の調査により縄文時代の集落跡が確認され、出土した遺物などから他地域との交流がうかがえるなど貴重な発見となった。（伊藤 智・宮本正保）



木棺墓



彩文土器（浅鉢）

### 3. 大橋川河川改修事業に伴う発掘調査

**調査概要** 国土交通省出雲河川事務所から委託を受けて実施しているこの調査は、平成24年度から実施している。今年度は下流部の開削及び築堤工事予定地となっている、松江市矢田町地内の灘遺跡について発掘調査を実施した。現地調査期間は6月6日から10月29日、調査面積は720㎡、調査員1名、嘱託調査員1名、調査補助員1名の体制で実施した。



灘遺跡位置図 (1/25,000 松江)

#### 灘遺跡

遺跡は、大橋川右岸矢田渡し東側300mの低湿地に位置し、南から派生する井ノ奥丘陵（青葉台団地）の先端裾部にあたる。古墳時代には大形の古墳が集中する地域として知られ、また古代においては、大橋川が最も狭くなる兩岸を含めたこの辺りは、『出雲国風土記』の中で「朝酌促戸」として記載され、出雲国庁から隠岐へと通じる交通の要衝地であった。平成23年度に実施したトレンチ調査によって、石組状遺構、杭列が確認され、古代の土師器・須恵器のほか火鑽臼などの木製品が検出され、今回の本発掘調査に至った。

地表面（標高約2.2m）から1mあまりは造成土で、それより下位は、上から青灰色系粘質土（近世後半以降）-砂礫層（古代）-基盤層（松江層）と続く。基盤の段丘平坦面は標高約0.3mで検出しており、平成24年度に本発掘調査を行った官道下遺跡と同様である。遺構は、大橋川旧河道と近世後半以降の護岸施設を確認した。旧河道は長さ67m、最大幅約7mで、最深部の標高は-1.4mを測る。現在の川と概ね平行するが、北西側では肩部が南東谷側へ入り込んでいく様子が認められた。河道の埋土下層からは弥生時代中期～平安時代の遺物、上層からは近世後半以降の陶磁器が出土している。護岸施設は杭列・横木・裏込めが基本構成で、裏込めにはグリ石のほか松江城下町遺跡でも確認されている土嚢積み、敷粗朶などが用いられている。杭列は5列以上あり、近世後半以降、護岸が徐々に川側へ移動していく様子が明らかとなった。遺物は奈良後半～平安時代の須恵器が顕著で、このうち判読はできないものの墨書土器が1点確認された。他に容器、アカトリ、燃えさしなどの木製品等が出土している。須恵器は総じて磨滅が少なく、これらは後背谷部に所在するとみられる遺跡からもたらされた可能性が高い。

**まとめ** 昨年度に実施した官道下遺跡の調査に引き続き、今回の調査でも古代の遺物が良好な状態で確認することができ、風土記時代の遺跡周辺部の様相・景観を考える上で大きな成果が得られたといえる。また、護岸施設の構造と変遷が明らかとなったことは、藩政期から近代にかけての治水・土木技術を知るうえで重要な資料を提供することとなった。（勝部智明）



発掘状況（西より）



護岸裏込めの土のう積み（北より）

## 4. 国道432号道路(大庭バイパス)改築工事に伴う発掘調査

**調査概要** この調査は、県土木部道路建設課から依頼を受けて平成20年度から実施しており、今年度で6年目となる。今年度は茶臼遺跡の調査を現地調査期間6月4日～10月16日、調査面積2,200㎡で調査員1名、調査補助員2名の体制で実施した。



遺跡位置図

### 茶臼遺跡

茶臼遺跡は松江市大庭町に所在し、国史跡大庭鶏塚古墳の西側に広がる水田に位置している。今回の調査では、調査区をほぼ南北に流れる自然河道（SR01）と東西方向に延びる溝状遺構（SD01）、用途不明の土坑状遺構（SX01）を検出した。

調査区の基本層序は上層から黒褐色土（耕作土）、黒茶色土、黒茶褐色土、黒灰色砂礫層の順で堆積している。黒茶色土は水田床土、黒茶褐色土は自然河道の覆土であるが、遺物を含んでいることから前者を包含層1、後者を包含層2として調査を行った。なお、遺物の大半はこの包含層2から出土している。

SR01は大半が削平を受けているため正確な規模は判然としないが、最大幅約18m、深さ約40cm程度が確認できた。調査区南端から北に向かって流れ、中央付近から西に向かって緩やかに曲がりながら調査区外に流れていくようである。覆土中には古墳時代前期から中世にかけての土器が出土していることから、中世までは川として機能していたものと推測される。遺物には土器のほか石鏃や石帯、古銭も出土している。

SD01は調査区北端で東西方向に延びる状況で検出した。確認できた規模は長さ15.5m、幅は2.0～4.2m、深さ50cmを測る。遺物は溝上面から須恵器坏1、底面より土師器甕4、高坏1が出土している。底面出土遺物の特徴からみて古墳時代前期の溝状遺構と推測されるものの、その用途等については把握できなかった。

SX01は調査区中央西壁寄り壁に半分かかる状態で検出した。確認できた規模は南北2.0m、東西1.5m、深さ25cmで内部には板状及び杭状の木製品が残存していた。その用途等については不明であるが、時期についてはSR01下層で検出したことから見れば中世以前と考えられる。

**まとめ** 以上のように、今回の調査では自然河道や水田による削平が著しく明確な遺構は少なかったものの、溝状遺構の存在は古墳時代前期にはこの地もしくは周辺に集落等が存在していた可能性が高いものと推測でき、貴重な成果といえる。 (今岡一三)



調査区完掘状況



SD01完掘状況

## 5. 学術調査等

### (1) 考古資料基礎調査研究（墓制調査事業）

#### 東淵寺古墳

**調査概要** この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」事業の一環として共同で実施しているもので、東淵寺古墳は平成23年度から継続して調査を行った。

発掘調査は10月15日から開始し1月17日に終了した。調査面積は約70㎡である。

**遺跡の概要** 東淵寺古墳は松江市大庭町に所在し、全長62mの前方後円墳と推測されている。

今年度の発掘調査は、昨年度確定できなかった墳形の確認を目的として、前方部付近からくびれ部付近に第4トレンチ～第7トレンチを設定した。

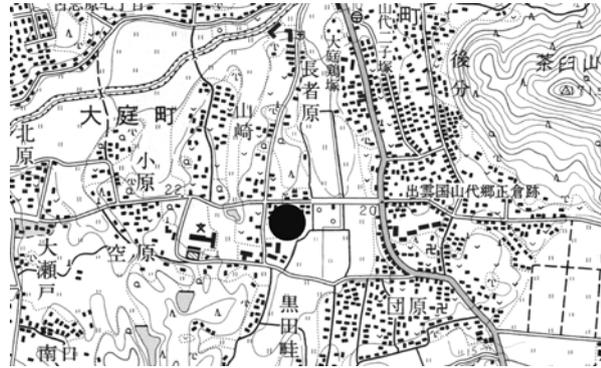
第4トレンチでは、表土下標高20.5mから19.3m付近まで盛土と考えられる黒ボクに近い黒色土と黄褐色土が混在する層を確認した。盛土は、谷状の地形を埋めるように施されている。また、後円部側の標高19.5m付近から地山を60cm程度掘り込んだ南北約2mの土坑を検出した。南側からはまとまった石材を検出しているが、性格は不明である。

第6・7トレンチでは、東壁沿いの標高20.5m付近で地山を確認し、墳丘の一部と考えられるが、傾斜面は削られており不明瞭である。標高19.5m付近で昨年度検出した墳裾の延長部分が確認でき、トレンチ西壁に向けて抜けている。周溝底面はマンガンバンド上面で、埋土からは多量の遺物が出土している。

**遺物の概要** 出土遺物は、須恵器・土師器・埴輪などが出土した。須恵器は出雲型子持壺が主体で、団原古墳出土例に類似する。皮袋形土器は島根県内出土4例目である。円筒埴輪は上塩冶築山古墳出土例に類似する。

**まとめ** 第6・7トレンチで確認された墳裾と墳丘の残存状況から、前方部が付設する墳丘であることはほぼ確実と考えられ、これまでの成果から前方後円墳である可能性が高いと思われる。さらに、第4トレンチの土層からは、後円部の盛土の上に前方部の盛土が施されていることが確認され、築造工程が明らかになった。

(原田敏照)



東淵寺古墳の位置 (S=1/25,000 松江)



第4トレンチ (南から)



第6・7トレンチ (南から)

## 魚見塚古墳

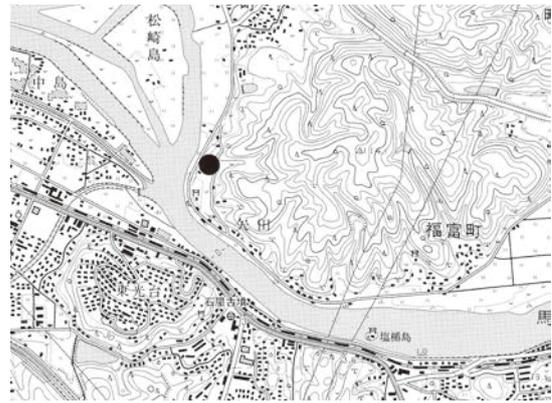
**調査概要** この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している基礎研究「考古資料基礎調査研究（墓制調査）」の一環として実施しているもので、魚見塚古墳は今年度が二年目となる。発掘調査は9月24日から開始し、12月6日に終了した。調査面積は225㎡である。

**遺構の概要** 今年度の調査は墳形確認と石室開口部の位置把握を目的として、昨年度調査が実施できなかった後円部西側を中心に実施した。後円部西側に設定したT3では、幅3mの溝(SD02)を検出し、調査区を拡張・追加してその広がりや性格解明に努めた。その結果、SD02は古墳周囲を廻らず、かつ墳丘築造時に人為的に埋め立てられていることから、周溝ではなく古墳築造時に伴う何らかの遺構と判断された。また、くびれ部トレンチにおいても墳丘築造以前の溝を検出し、墳丘築造時の整地時に伴う遺構の可能性が示唆された。一方、もう一つの目的である石室開口部の位置確認のため後円部西側裾部を面的に精査したが、確認には至っていない。なお、後円部西側のトレンチと前方部前端部のトレンチから弥生時代後期の竪穴建物を3基確認した。

**遺物の概要** 出土遺物は、須恵器・弥生土器・陶磁器などがコンテナ6箱分出土した。須恵器の大半は出雲型子持壺であり、大橋川対岸の手間古墳出土例に類似する。またSD02床面付近からは有蓋高坏2セットがほぼ完形で出土し、墳丘築造時の儀礼を示す遺物群として注目される。

**まとめ** 今年度の調査は墳丘西側の墳端確定と埋葬施設の位置確定が目的であった。前者については周溝や明確な墳端は確認されなかったものの、SD02など墳丘築造時に伴う可能性が高い遺構が確認され、墳丘形状や規模復元のための資料を得られたことは大きな成果であった。他方、もう一つの目的であった石室開口部の位置確認は果たせず、今回の調査結果から後円部東側に開口するものと予測されるが、最終的には発掘調査によって確定するしか術はない。いずれにせよ、出雲東部最大級の前方後円墳の規模や築造工程が明らかにされたことは、出雲の古墳時代研究に資するところが大きく、今後の調査研究の進展が期待される。

(池淵俊一)



魚見塚古墳の位置 (S=1/25,000 松江)



魚見塚古墳近景 (南西より)



SD02 須恵器出土状況

## 古天神古墳

**調査概要** この調査は、地滑りにより崩落した墳丘及びその周辺について、地滑り対策工事の実施に先立って、墳丘崩落面の土層断面の記録作成のために行った。

調査は6月6日から開始し7月19日に終了した。調査面積は40㎡である。

**遺跡の概要** 県指定史跡古天神古墳は、松江市大草町に所在する。意宇平野及び意宇川を北に

臨む大草丘陵（標高30～90m）に広がる大規模古墳群（大草丘陵古墳群）の中に存在し、古墳は丘陵から北に派生する尾根先端付近の標高50mに位置している。全長27mの前方後方墳であり、後方部の高さは4mを測る。埋葬施設は横穴式石室であり、出雲地方東部に分布するいわゆる石棺式石室の祖型となるものである。石室は既に大正年間に開口し、出土遺物として埴輪片、須恵器、大刀、馬具、耳環が知られ、東京国立博物館に所蔵されている。

調査は、崩落面の現状に合わせて主軸の異なる4面に分けて土層断面を図化した。墳丘は基本的に盛土によって構築されているが、前方部先端付近及び後方部では旧表土が見られないため旧地形を削平してから盛土を施している。後方部の盛土と前方部の盛土の構築順序は現状からは判断できない。前方部は先端部周辺に当たる部分の旧地形を整形し、くびれ部に向かって充填するように盛り土している。後方部は、石室構築のために旧地形を削平しており、さらに石室にあたる部分を掘り下げている可能性が考えられる。盛土は前庭部側壁を構築するのに並行して施されている。

石室開口部下方の崩落面では、地山上に流土が堆積していることから、上部に散在する石材は葺石等ではなく、石室開口時に二次的に排出された閉塞石もしくは前庭部側壁の石材と考えられる。断面西側端からは弥生時代後期の土器が出土し、墳裾が想定されている平坦面は弥生時代の遺構である可能性もある。

**遺物の概要** 出土遺物は、須恵器・土師器・埴輪・石器などである。

**まとめ** 墳丘断面の調査によって、墳丘の前方部及び後方部の構築状況の概略を把握することができた。後期の前方後方墳の構築過程について明らかな事例は少ないことから、貴重な成果と考えられる。また、墳丘盛土及び旧表土から、弥生時代後期の土器が出土していること等から、古墳以前に弥生時代後期の遺構が同丘陵上に存在していることが明らかとなった。（原田敏照）



古天神古墳の位置 (S=1/25,000 松江)



墳丘調査状況（前方部側から）



石室開口部下方の土層断面（南から）

## (2) 考古資料礎調査研究（出土品再整理事業）

当事業は、過去に県教育委員会が発掘調査を実施して現在当センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心に再整理を実施してその内容を明らかにするとともに、市民が容易に利用できるようデータベース化をはかることを目的として実施しており、今年度が2年目となる。

今年度は、昨年度に引き続き、現在古代文化センターが実施中の「テーマ研究事業：前方後方墳と東西出雲の成立」にあわせ、松江市意宇平野の集落遺跡の解明を目的として、布田遺跡の再整理を行った。出土品については、過去の出土品総てを対象として細片一片に至るまで種別・時代別に再分類し、重量を計測して定量的把握を行うとともに、写真撮影を実施し、データベースを作成した。また、非掲載遺物でも重要と思われる資料については実測を行った。また、将来的な展示に備えて土器の復元作業も併せて行っている。

今年度の整理作業の結果、布田遺跡（1989年度報告書刊行分）の資料については、全遺物について定量的分析が完了し、遺跡の時期別推移を定量的に把握することができた。その結果、当遺跡が弥生時代前期後半から中期中葉を中心として長期間継続する集落であり、土器の出土量からみて松江市西川津遺跡に次ぐ弥生時代前半期の代表的拠点集落であることが改めて浮き彫りとなった。非掲載遺物中からは朝鮮半島系の擬無文土器や漆塗土器、玉作関連遺物をはじめとする重要遺物を確認することができた。今回の検討の結果、当遺跡の位置づけ及び意宇平野における遺跡動態が一層明確となり、当地の歴史展開を考える上で重要な知見を得ることができた。（池淵俊一）

## (3) 保存処理・理化学分析

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水漬けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水漬け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行なっている。処理後の遺物は温湿度管理下において保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影・蛍光X線分析に関しては、センターの調査現場、報告書撮影、保存処理での活用のほかに、市町村教育委員会・大学等を対象とした撮影・分析も行なっている。

## 平成 25 年度 作業実績

保存処理は、山持遺跡、鶴貫遺跡、出雲国府跡、夫敷遺跡、門生黒谷Ⅱ遺跡、西川津遺跡、岩屋口南遺跡の木製品 66 点について行なっている。古代出雲歴史博物館の展覧会や外部機関への貸出に対応するため、東船遺跡出土古銭等について保存処理をした。また、松江城から発見された「石玉」を石材強化剤「OM25」を使用して強化した。発掘現場での作業として、松江城三の丸で土層の剥ぎ取りを、古屋敷遺跡で脆弱な木製品の取り上げを、それぞれ実施した。

蛍光 X 線分析は個人より依頼されたパキスタン出土化粧皿付着赤色顔料、松江市向山西 2 号墳出土埴輪付着赤色顔料、大田市古屋敷遺跡出土彩文土器赤色顔料の成分分析、庵寺古墳群出土耳環素材の成分分析について行なった。これらの分析結果は現地説明会の資料や報告書作成に反映された。

（澤田正明・上山晶子）

#### (4) 試掘確認調査・分布調査

国庫補助事業として以下のとおり実施した。

##### (1) 平成25年度試掘確認調査

事業名	名称等	所在	現地調査期間	実施した調査 (トレンチ面積合計)	調査概要
一般国道9号 (出雲・湖陵道路) 改築事業予定地	玉泉寺裏遺跡	出雲市東神西町御崎谷1472外	7月8日～22日	トレンチ16カ所 (105㎡)	柱穴、加工段、弥生土器、土師器
	九景川遺跡	出雲市東神西町井ノ内1408外	7月25日～8月21日	トレンチ24カ所 (121㎡)	加工段、土師器、須恵器
	麓Ⅱ遺跡	出雲市東神西町麓793外	10月7日～25日	トレンチ9カ所 (100㎡)	柱穴、加工段、縄文土器、須恵器、土師質土器
	坂本谷遺跡	出雲市西神西町坂本165外	8月22日～9月10日	トレンチ12カ所 (62㎡)	平坦面、土師質土器、陶磁器
	要注意箇所No.11	出雲市西神西町坂本1422外	8月22日～9月10日	墓地の構造や年代の記録を作成	江戸～明治期の墓地遺物なし
	要注意箇所No.12	出雲市西神西町猿喰1719外	9月18日～10月3日	トレンチ18カ所 (104㎡)	遺構・遺物なし
一般国道9号 (朝山・大田道路) 改築事業予定地	門遺跡	大田市久手町刺鹿1470-1外	8月5日～23日	トレンチ1カ所 (17㎡)	少量の遺物あり
	神谷遺跡	大田市久手町波根西2537-3外	10月4日～11月18日	トレンチ18カ所 (221㎡)	炭窯、土師器
	涼見E遺跡	大田市久手町刺鹿3014-3外	10月23日～11月15日	トレンチ14カ所 (180㎡)	墳墓の可能性
	要注意箇所No.26	大田市久手町刺鹿3005-4外	11月20日～28日	トレンチ7カ所 (66㎡)	須恵器1点
	要注意箇所No.53	大田市久手町波根町489-3外	12月3日～9日	トレンチ10カ所 (57㎡)	遺構・遺物ともなし
	近谷遺跡	大田市久手町波根西2431外	平成26年1月20日～24日	トレンチ9カ所 (50㎡)	遺物・遺構なし
	大西大師山遺跡	大田市久手町波根西2490外	12月16日～26年1月17日	トレンチ12カ所 (70㎡)	横穴墓少量の遺物あり
	高原遺跡	大田市波根町上河内313外	12月5日～16日	トレンチ11カ所 (99㎡)	少量の遺物あり
一般国道9号 (静間・仁摩道路) 改築事業予定地	要注意箇所工区③	大田市五十猛町嘉庭668-1外	10月28日～11月5日	トレンチ5カ所 (50㎡)	加工段、遺物なし
大橋川河川改修事業及び市道拡幅	要注意箇所1	松江市福富町130番地外	11月18日～12月3日	トレンチ5カ所 (25.5㎡)	遺構・遺物ともなし
国道432号 菅原広瀬バイパス 改築事業予定地	宮尾Ⅲ遺跡	安来市広瀬町広瀬942外	11月5日～13日	トレンチ12箇所 (120㎡)	ピット、溝状遺構、土師器
国道432号 大庭バイパス 改築事業予定地	川原宮Ⅱ遺跡	松江市大庭町30外	10月21日～31日	トレンチ7箇所 (84㎡)	ピット、溝状遺構、須恵器、土師器
県道矢尾今市線 改築事業予定地	高浜Ⅰ遺跡	出雲市里方町字八石原943外	12月9日～17日	トレンチ10箇所 (80㎡)	ピット、溝状遺構、土師質土器
県立出雲養護学校 改築工事予定地	要注意箇所1	出雲市神西沖町2485	8月5日	トレンチ3箇所 (108㎡)	遺構、遺物なし

##### (2) 平成25年度分布調査

計画事業名	調査地	調査期間	市町村協力
大橋川河川改修事業地	松江市東朝日町 外	11月29日～30日	松江市教育委員会
一般国道9号 (三隅・益田道路) 改築事業予定地	浜田市三隅町三隅～益田市遠田町 (本線部及び岡見インター線・鎌手インター線外)	平成26年2月24日～3月7日	浜田市教育委員会 益田市教育委員会
一般国道9号 (大田・静間道路) 改築事業予定地	大田市久手町刺鹿～静間町(本線部)	平成26年3月10日～14日	大田市教育委員会
一般国道9号 (湖陵・多伎道路) 改築事業予定地	出雲市湖陵町三部～多伎町久村(本線部)	平成26年3月17日～20日	出雲市文化環境部

## Ⅶ 県内発掘調査一覧

市町村など（\*平成24年12月29日～平成25年12月27日に通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積 (㎡)	発掘予定 期 間	
1	散布地	杉沢Ⅱ遺跡	出雲市斐川町直江 835番地4外	出雲市 江角 健	3,000	250115- 250315	その他開発 (工業団地造成)
2	その他の遺跡 (近世街道)	山陰道	江津市江津町 字土床	江津市教育委員会 伊藤 創	300	250121- 250329	保存目的
3	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (北堀町80外)	松江市北堀町80外	松江市教育委員会 川西 学	49.3	250115- 250125	宅地造成
4	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町158)	松江市南田町158	松江市教育委員会 徳永 隆	48	250218- 250228	宅地造成
5	散布地	B16遺跡	松江市大庭町 字小原1094番1	松江市教育委員会 川上昭一	10	250219- 250222	個人住宅
6	散布地	稲寄遺跡	松江市古志町191-9	松江市教育委員会 赤澤秀則	18	250311- 250311	その他建物 (福祉施設)
7	城館跡	B28遺跡	松江市大庭町 字土地田後778番外	松江市教育委員会 川上昭一	10	250328- 250329	土地区画整理
8	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町127-17外)	松江市南田町127-17外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 徳永桃代	593	250415- 250930	道路
9	集落跡	大庭原ノ前遺跡	松江市大庭町 字原ノ前124番地	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 落合昭久	440	250415- 250630	土地区画整理
10	散布地	二部遺跡	松江市古曾志町 352番2外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 廣濱貴子	250	250422- 250731	道路
11	その他の遺跡 (近世街道)	山陰道	江津市江津町3 48地先外	江津市教育委員会 伊藤 創	240	250424- 260228	河川
12	集落跡	沖手遺跡	益田市久城町 30番5外	益田市教育委員会 長澤和幸	65	2506上旬 2507上旬	店舗
13	散布地	杉沢Ⅱ遺跡	出雲市斐川町直江 835番地4外	出雲市 景山真二	15,000	250507- 260131	その他開発 (工業団地造成)
14	横穴墓	上塩冶横穴 墓群	出雲市上塩冶町	出雲市 曾田辰雄	4,100	250516- 260331	道路
15	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町101-21外)	松江市南田町 101-21外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 古藤博昭	149.5	250620- 250920	道路

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積 (㎡)	発掘予定 期 間	
16	散布地	湊遺跡	隠岐郡隠岐の島町西村地内	隠岐の島町教育委員会 野津哲志	50	250610- 260228	道路
17	散布地	松原遺跡	浜田市三隅町岡見地内	浜田市教育委員会 藤田大輔	14	250624- 250731	道路
18	社寺跡	出雲大社境内遺跡	出雲市大社町杵築東195	出雲市 三原一将	139.5	250701- 251031	その他建物 (展示施設)
19	古墳	廻原一号墳	松江市朝酌町1166	島根大学法文学部 考古学研究室 岩本 崇	9	250902- 250930	学術研究 (内容確認調査)
20	散布地	白畑遺跡	松江市鹿島町古浦大字白畑319、 風呂谷321外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 廣濱貴子	91.1	250716- 250927	道路
21	城館跡	堂ノ原城跡	出雲市河下町字廻田1522番9、 字堂ノ原1506番4	出雲市 江角 健	54	250628- 250705	その他開発 (携帯電話無線 基地局建設)
22	生産遺跡	床屋間歩群・ 床屋4～6号 鈎跡	邑智郡邑南町久喜932番地	邑南町教育委員会 角矢永嗣	200.0	250902- 260331	保存目的
23	城館跡	富田城跡	安来市広瀬町富田524外	安来市教育委員会 水口晶郎	182	250808- 260331	保存目的
24	生産遺跡	菅谷たたら 山内「高殿」	雲南市吉田町菅谷1225 番地外	雲南市教育委員会 坂本諭司	4	250819- 250831	保存目的
25	社寺跡	隠岐国分寺 周辺遺跡	隠岐郡隠岐の島町池田風呂前5	隠岐の島町教育委員会 野津哲志	約 100	250805- 250828	保存目的
26	社寺跡	出雲大社 境内遺跡	出雲市大社町杵築東 195	出雲市 宍道年弘	340	250902- 260331	その他開発 (石垣補修及び 排水路整備)
27	生産遺跡	廻ノ上製鉄跡	雲南市大東町上久野1542-2 外	雲南市教育委員会 高橋誠二	5,675	250902- 250930	農業基盤整 備事業
28	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (石橋町31外)	松江市石橋町31番、 31番1	松江市教育委員会 川上昭一	104	250924- 251031	その他建物 (老人施設)
29	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町134-1)	松江市南田町134-1	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 徳永桃代	409.3	251015- 260627	道路
30	集落跡	山持遺跡	出雲市西林木町100-3 外	出雲市 石原 聡	8	251001- 251031	宅地造成
31	集落跡	喜時雨遺跡	津和野町田二穂 145 番 3	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	595	251021- 251130	その他開発 (仮設道路)
32	城館跡	益田市城館跡 (三宅御土居跡)	三宅町口 1231-1、 口 1232	益田市教育委員会 松本美樹	200	251105- 260331	保存目的

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m <sup>2</sup> )	発掘予定期間	
33	集落跡	沖手遺跡	益田市久城町 23 番 1 外	益田市教育委員会 長澤和幸	95.2	251023- 251130	保存目的
34	官衙跡	山代郷正倉跡 東遺跡	松江市山代町340-1	松江市教育委員会 徳永 隆	60	251105- 251115	個人住宅
35	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (南田町 132 外)	松江市南田町132外	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団 廣濱貴子	659.2	251111- 260630	道路
36	生産遺跡	田儀櫻井家 たたら製鉄遺跡 (越堂たたら跡)	出雲市多伎町口 田儀 910-51	出雲市 石原 聡	54	251118- 260331	遺跡整備
37	集落跡	蔵屋敷遺跡	松江市大庭町 891-29	松江市教育委員会 徳永 隆	55.0	251128- 251206	その他開発 (駐車場造成)
38	城館跡	立岩小丸砦跡	出雲市佐田町須佐 1615-5 外	出雲市 宍道 年弘	10	251105- 251128	道路
39	その他の遺跡 (城下町遺跡)	松江城下町遺跡 (北田町 481 外)	松江市北田町 48-1 外	松江市教育委員会 川上昭一	9	251218- 251219	その他の建物 (仮設庁舎)
40	散布地	島田Ⅱ遺跡	松江市東出雲町 揖屋 58 番地 1 外	松江市教育委員会 徳永 隆	9	251218- 251220	道路
41	集落跡	余小路遺跡	出雲市松寄下町 676-6 番地外	出雲市 江角 健	36	251122- 251226	道路
42	散布地	松原遺跡	浜田市三隅町岡見 地内	浜田市教育委員会 藤田大輔	56	251218- 260320	道路
43	城館跡	津和野城跡	鹿足郡津和野町 後田ハ 19-1	津和野町教育委員会 伊藤悟郎	12	260107- 260119	保存目的

県 (\*平成 23 年 12 月 29 日～平成 24 年 12 月 28 日に通知のあったもの)

番号	対象遺跡			発掘通知書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m <sup>2</sup> )	発掘予定期間	
1	散布地	茶臼遺跡	松江市大庭町754-1外	大庭俊次	30	250128- 250208	道路(国道432号大庭 バイパス試掘調査)
2	散布地	古龍遺跡	大田市温泉津町湯里 908番外	目次謙一	20	250225- 250329	学術研究(世界遺産 総合調査研究事業)
3	城館跡	松江城	松江市殿町 1 番地	東山信治	72	2505上旬 2506中旬	その他の建物 (庁舎)
4	散布地	灘遺跡	松江市矢田町 12-9 外	勝部智明	1,000	250603- 251105	河川(斐伊川水系 大橋川河川改修)
5	散布地	中尾H遺跡	大田市久手町刺鹿 239-1 外	林 健亮	254	250528- 250811	その他の建物 (鉄塔建設)

番号	対 象 遺 跡			発 掘 通 知 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積 (㎡)	発 掘 予定期間	
6	集落跡	古屋敷遺跡	大田市仁摩町大国137外	宮本正保	2,000	250531-251224	道路(一般国道9号静間仁摩道路)
7	散布地	茶臼遺跡	松江市大庭町752-1外	今岡一三	2,000	250610-251129	道路(国道432号大庭バイパス)
8	集落跡	鈴見B遺跡	大田市久手町波根西2515-4	久保田一郎	1,260	250528-250930	道路(一般国道9号朝山大田道路)
9	古墳	古天神古墳	松江市大草町1、169-4	原田敏照	40	250606-250731	遺跡整備
10	生産遺跡	赤羽根遺跡	浜田市西村町878-2	東森 晋	70	250524-250531	道路(一般国道9号浜田三隅道路)
11	集落跡	玉泉寺裏遺跡	出雲市東神西町字御崎谷1472	深田 浩	3,260	250708-250731	道路(一般国道9号出雲湖陵道路試掘調査)
12	集落跡	九景川遺跡	東神西町字井ノ内1407外	深田 浩	5,340	250722-250830	道路(一般国道9号出雲湖陵道路試掘調査)
13	散布地	門遺跡	大田市久手町刺鹿1470-1	林 健亮	15	250805-250830	道路(一般国道9号朝山大田道路試掘調査)
14	集落跡 城館跡	旭山遺跡	大田市波根町314番地ほか	林 健亮	700	250901-251129	道路(一般国道9号朝山大田道路)
15	その他の遺跡	鳴滝鉛山古道	大田市五十猛町2318-2	是田 敦	5,650	250902-250920	道路(一般国道9号静間仁摩道路)
16	古墳	魚見塚古墳	松江市朝酌町1293外	池淵俊一	150	250924-251129	学術研究
17	城館跡	松江城	松江市殿町1番地	東山信治	35	2507上旬 2507下旬	その他の建物(庁舎)
18	城館跡	松江城	松江市殿町1番地	東山信治	6	2509中旬 2509下旬	その他の建物(庁舎)
19	集落跡	麓Ⅱ遺跡	出雲市東神西町麓742外	是田 敦	2,590	251007-251018	道路(一般国道9号出雲湖陵道路試掘調査)
20	古墳	東淵寺古墳	松江市大庭町	原田敏照	30	251015-251220	学術研究保存目的
21	散布地 集落跡	高浜Ⅰ遺跡	出雲市里方町	今岡一三	2,000	251209-251220	道路(県道矢尾今市線試掘調査)
22	散布地	高原遺跡	大田市波根町上川内ほか	林 健亮	90	251127-251213	道路(一般国道9号朝山大田道路試掘調査)
23	横穴墓	大西大師山遺跡	大田市久手町波根西2490外	林 健亮	100	251216-260120	道路(一般国道9号朝山大田道路試掘調査)
24	横穴墓	近谷遺跡	大田市久手町波根西2431外	林 健亮	50	260120-260124	道路(一般国道9号朝山大田道路試掘調査)

# Ⅷ 刊 行 物

## 1. 埋蔵文化財調査センター年報 22

平成 26 年 3 月刊行。発行部数 400 部

## 2. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発行月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No.55	平成 26 年 3 月	10,000	平成 25 年度に実施した発掘調査

## 3. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
一般国道 9 号（仁摩温泉津道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5 庵寺古墳群Ⅱ・大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡	262	深田 浩	庵寺古墳群は標高 80 m の丘陵上に立地し、弥生時代の集落跡や古墳時代前期～中期を主体とする 21 基の古墳が検出され、古墳からは箱式石棺や木棺、土器棺墓など多様な埋葬施設が認められた。前漢鏡の破碎副葬や土器枕、棺内礫敷きなど北部九州から但馬にかけての地域との関連性が示唆され、古墳時代前半期における日本海沿岸の交流を解明する上で貴重な事例を提供した。 大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡は近世の石切場跡で、採掘坑の規模や石切技法が明らかになるとともに、大迫ツリ遺跡の線刻画群からは人名・地名・屋号・座仏像などが確認された。江戸時代に温泉津周辺で盛んだった石材加工業の実態を研究する上で貴重な資料となった。
一般国道 9 号（朝山大田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書 2 市井深田遺跡 荒槇遺跡 鈴見 B 遺跡 1 区	259	是田 敦	市井深田遺跡は 6 世紀後半から 9 世紀前半にかけての集落遺跡で、竪穴建物跡や掘立柱建物跡が多数検出された。また海岸部では類例の少ない造り付けの竈が検出された。 荒槇遺跡では縄文時代から中世の川跡が検出された。また中世の木棺墓が検出された。 鈴見 B 遺跡では弥生時代から近世の川跡が検出された。
風土記の丘地内発掘調査報告書 22 史跡出雲国府跡 -9 総括編 -	500	原田敏照	松江市大草町に所在する史跡出雲国府跡は、昭和 43（1968）年の発掘調査以降、平成 23（2011）年まで奈良国立文化財研究所、松江市教育委員会、島根県教育委員会によって発掘調査が行われており、現在までに概報を含め 11 冊の報告書が刊行されている。

## 4. 発掘調査パンフレット

名 称	発行部数	概 要
西川津遺跡	4000	松江市にある西川津遺跡の発掘調査の成果を分かりやすく紹介したパンフレット。A4 カラー 16P。

# IX 付 編

## 赤羽根遺跡発掘調査報告

### 1. 調査にいたる経緯

平成 25 年 5 月 20 日、一般国道 9 号（浜田三隅道路）改築事業の施工業者から、事業地内に焼土や鉄滓が散乱していると、浜田市教育委員会経由で埋蔵文化財調査センターに連絡があった。国土交通省浜田河川国道事務所と協議し、直ちに現地を確認し試掘調査を実施することにした。

### 2. 所在地 浜田市西村町 874 外

### 3. 調査の経過

- 5 月 21 日 現地確認（県・浜田市）
- 5 月 24 日 試掘調査（県・浜田市）
- 5 月 28 日 実測・遺物採集（県）

### 4. 調査の概要

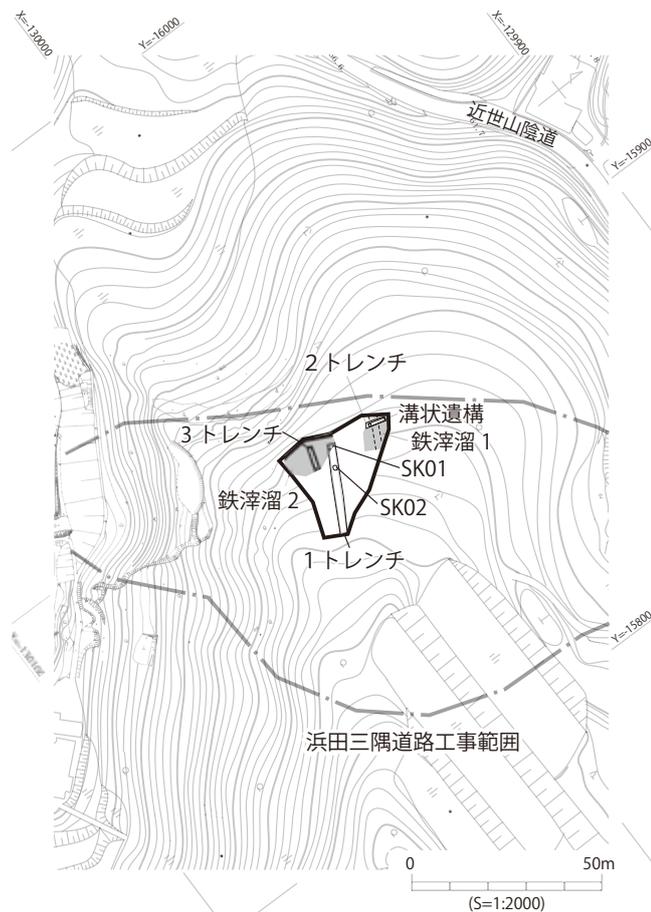
赤羽根遺跡は、日本海に近い標高約 90 m の丘陵上に立地する。遺跡の約 80 m 北側には近世山陰道が通っており、詳細は不明だが近隣に「西村たたら」が存在したと言われている。調査前の遺跡は山林で、丘陵は北西に向かって緩やかに傾斜し、西側と南側には畑の跡と思われる幅 3m 前後の平坦面が多数確認された。尾根上は約 30 × 30m の範囲で平坦になっており、北側で鉄滓溜が 2 か所確認されたので、尾根上または近隣に製鉄関連遺跡が存在する可能性が考えられた。

**1 トレンチ** 調査対象地の中央部に、等高線に直行するように 25 × 2m の範囲で設定した。地形は北側に緩やかに傾斜し、造成等を行った部分は確認できなかった。北西隅で方形の土坑 SK01 を、そこから約

5m 南東で同様の土坑 SK02 を検出した。SK01 は、平面の規模が 1.5 × 1 m 以上、壁面はほぼ垂直に掘りこまれ、床面は平坦に造られている。土坑内には鉄滓を多量に含む黒褐色砂質土が堆積し、床上には暗褐色の粘質土が約 5cm 堆積していた。壁面と床面に黄色の粘土が貼られ、壁面・床面とも被熱した跡が無く、拳大程度に割れた鉄滓で一度に埋められた様子から、製鉄関連構でない判断した。SK02 も平面形や規模、壁面に粘土が貼られている点が SK01 と同様である。



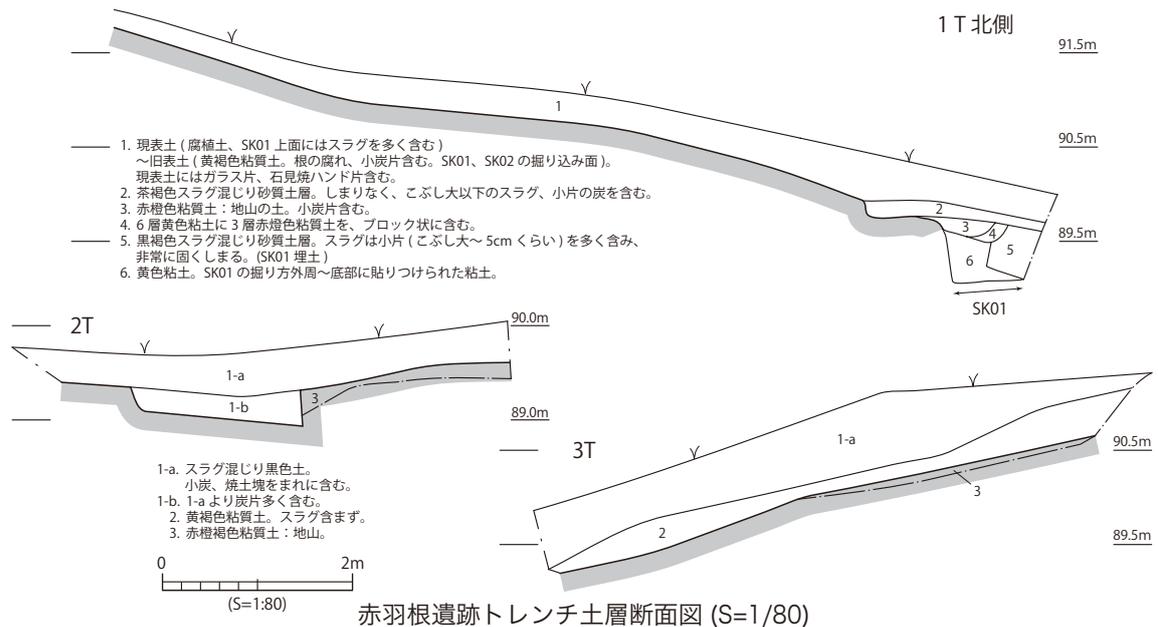
赤羽根遺跡の位置 (1/50,000 浜田)



赤羽根遺跡調査区位置図

**2 トレンチ** 鉄滓溜①に、6 m × 1.5 mの範囲で設定した。鉄滓溜①は、地表面で拳大前後の小さい鉄滓と腐食土が混在している状態で確認された。焼土や炉壁はほとんどみられない。土層断面や出土した遺物から、19世紀以降に周辺の製鉄遺跡から二次的に鉄滓が運び込まれたものと考えられる。トレンチ中央部分で確認した幅約2 mの溝状遺構は、周辺の溜桝や畑の跡に関連した水路跡と考えられる。鉄滓溜①はこの溝が埋まった後に形成されている。

**3 トレンチ** 鉄滓溜②に、7 m × 1.5 mの範囲で設定した。遺構は検出されず、炉壁や陶磁器類はほとんど出土しなかった。鉄滓溜②は、拳大の鉄滓が15 × 10 mの範囲に大量に堆積している。西側には石垣や宅地等の区画などに使用されたと考えられる、30～40cm角の石材が多数集められていた。鉄滓溜②も周辺の製鉄遺跡から二次的に鉄滓が運び込まれたものと考えられる。



**出土遺物** 製鉄に関連する遺物として、炉壁、炉外流出滓、工具痕付滓・工具付着滓が出土している。二次的に運び込まれたものと判断したので、それぞれ任意で6.4kg、18kg、0.8kgをサンプリングして持ち帰った。1は炉壁で、炉の上端と側面とみられる平坦面がある。2は炉の底部付近とみられ、下部に鉄滓が付着している。出土した炉壁にスサは含まれていない。また、炉外流出滓のうち形状から、3は流出孔滓、4は流出溝滓と判断したもので、半円状の溝の断面形が窺える。また、工具痕付滓5、工具付着滓6には、直径約2～4cmの丸い棒状の工具痕跡がある。なお、遺跡内で出土した鉄滓には、いずれも気泡が多く入っている。

## 5. まとめ

調査の結果、当初予想された製鉄に関連する遺構は確認されず、炉の構造がうかがえる遺物もほとんど出土しなかった。一方、遺跡内で出土した鉄滓に明確な鍛冶滓は無く、高温での操業に伴う気泡が多くみられることから、近世以降の鋳が付近に存在したと考えられる。石見海岸部での鋳跡の調査例は少なく、当地域の近世製鉄業を考える資料を得ることができた。(東森 晋)



遺跡全景 (東から)



1 トレンチ調査後全景（南東から）



1 トレンチ北端 SK01 検出状況（東から）



2 トレンチ溝状遺構検出状況（東から）



3 トレンチ南側土層断面（南から）



赤羽根遺跡出土遺物（番号は本文中と対応）

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報22

発行日 2014年3月31日

編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

松江市打出町33番地

Tel. 0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

Eメール [maibun@pref.shimane.lg.jp](mailto:maibun@pref.shimane.lg.jp)

印刷 (有) 松本印刷

本文はR100再生紙を利用しています。